

平成23年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年6月8日

上場取引所 大

上場会社名 サムコ 株式会社

コード番号 6387 URL <http://www.samco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 辻 理

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部門統括部長

(氏名) 田井 彰

TEL 075-621-7841

四半期報告書提出予定日 平成23年6月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年7月期第3四半期の業績(平成22年8月1日～平成23年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年7月期第3四半期	4,000	18.0	631	36.4	602	29.0	346	24.9
22年7月期第3四半期	3,390	△1.9	463	△10.5	467	△3.4	277	△19.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年7月期第3四半期	59.10	—
22年7月期第3四半期	47.32	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年7月期第3四半期	8,989	6,404	71.2	1,092.15
22年7月期	8,524	6,138	72.0	1,046.84

(参考) 自己資本 23年7月期第3四半期 6,404百万円 22年7月期 6,138百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年7月期	—	0.00	—	15.00	15.00
23年7月期	—	0.00	—	—	—
23年7月期 (予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年7月期の業績予想(平成22年8月1日～平成23年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	40.3	1,060	128.8	1,050	154.6	625	152.4	106.59

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年7月期3Q 5,869,068株 22年7月期 5,869,068株

② 期末自己株式数 23年7月期3Q 5,417株 22年7月期 5,261株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年7月期3Q 5,863,729株 22年7月期3Q 5,864,272株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他に関する事項については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、厳しい雇用情勢や円高に変化はないものの、中国をはじめとする新興国の外需の牽引もあり、回復の兆しが見え始めておりました。しかし、本年3月11日に東日本大震災が発生し、電力供給や物流網などの社会インフラは深刻な打撃を受け、先行きの見極めが困難な状況となっております。

当社を取り巻く半導体等電子部品業界では、中国で照明用途のLED (Light Emitting Diode=発光ダイオード) の増産に向けた設備投資が積極的に行われ、国内においても東日本大震災を機に節電の意識が高まり、LED関連の設備投資が活発化しております。

このような状況の下、当社ではLEDの増産に対応した生産用途向け装置やMEMS (Micro Electro Mechanical Systems=微小電気機械素子) 分野を中心とする研究開発用途向け装置の受注、販売に努めました。第3四半期累計期間における品目別売上高では、CVD装置はLED向けに加えてMEMS向けやTSV (Through Silicon Via=シリコン貫通電極) 向けの販売が大きく伸びて1,139百万円 (前年同期比32.1%増) となりました。エッチング装置は引続きLED向けの販売が順調で2,069百万円 (前年同期比3.3%増)、洗浄装置はMEMS向けと実装・表面処理分野の販売が伸びて268百万円 (前年同期比56.1%増) となりました。第3四半期累計期間の輸出販売高は、台湾への販売に一服感が見られたものの中国への販売が537百万円 (前年同期比78.3%増) となり、1,508百万円 (前年同期比2.4%増) となりました。第3四半期末の受注残高は1,423百万円 (前年同期比23.7%増) と第2四半期末比376百万円の減少となりましたが、中国のLED向け大型案件や国内ではLED以外の生産用途向け装置の引合いが増加傾向にあります。

以上の結果、当第3四半期累計期間における業績は、売上高が4,000百万円 (前年同期比18.0%増) となり、経常利益は602百万円 (前年同期比29.0%増)、売上高経常利益率は15.1%となりました。純利益は346百万円 (前年同期比24.9%増) となりました。

(品目別売上高)

品 目	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)
CVD装置	1,139,150	28.5	32.1
エッチング装置	2,069,038	51.7	3.3
洗浄装置	268,875	6.7	56.1
その他装置	—	—	—
その他	523,079	13.1	48.2
合計	4,000,143	100.0	18.0

(用途別売上高)

用 途	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)
オプトエレクトロニクス分野	2,188,217	54.7	9.4
電子部品分野	762,816	19.1	39.6
シリコン分野	209,516	5.2	112.1
実装・表面処理分野	64,260	1.6	79.1
表示デバイス分野	—	—	—
その他分野	252,253	6.3	22.9
部品・メンテナンス	523,079	13.1	48.2
合計	4,000,143	100.0	18.0

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 当第3四半期末の資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、5,535百万円で前期末に比べ418百万円増加いたしました。売上債権が205百万円、現金及び預金が123百万円、たな卸資産が110百万円増加したことが主な要因であります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、3,453百万円で前期末に比べ45百万円増加いたしました。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、1,947百万円で前期末に比べ205百万円増加いたしました。買掛金が77百万円、未払法人税等が68百万円増加したことが主な要因であります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、637百万円で前期末に比べ6百万円減少いたしました。退職給付引当金が18百万円増加した一方、長期借入金が29百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、6,404百万円で前期末に比べ265百万円増加いたしました。自己資本比率は71.2%と前期末比0.8ポイント低下いたしました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、税引前四半期純利益が602百万円(前年同期比30.6%増)、仕入債務の増加77百万円がプラスに寄与した一方、売上債権の増加205百万円、法人税等の支払189百万円、たな卸資産の増加110百万円、配当金の支払87百万円などにより、資金残高は前期末に比べ116百万円増加し、当第3四半期会計期間末には1,766百万円(前期末比7.1%増)となりました。当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は376百万円(前年同期比20.9%減)となりました。これは主に税引前四半期純利益が602百万円、仕入債務の増加が77百万円であった一方、売上債権の増加が205百万円、法人税等の支払189百万円、たな卸資産の増加が110百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は111百万円(前年同期比44.3%減)となりました。その主な内容は定期預金の預入による支出2,528百万円、有形固定資産の取得による支出83百万円に対して、定期預金の払戻による収入が2,519百万円であったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は120百万円(前年同期に得られた資金95百万円)となりました。これは主に配当金の支払額が87百万円であったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年7月期の業績予想につきましては、平成22年9月10日に発表いたしました通期の業績予想数値に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

① たな卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前事業年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

2. 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年4月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,492,250	3,368,357
受取手形	46,386	70,666
売掛金	1,292,093	1,062,002
製品	123,451	6,685
仕掛品	443,705	472,801
原材料及び貯蔵品	92,057	69,050
前払費用	15,978	8,375
繰延税金資産	25,809	25,809
未収消費税等	186	28,887
未収還付法人税等	—	15
その他	4,073	4,436
貸倒引当金	△133	△112
流動資産合計	5,535,859	5,116,977

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年4月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年7月31日)
固定資産		
有形固定資産		
建物	851,296	844,487
減価償却累計額	△465,192	△442,156
建物(純額)	386,104	402,330
構築物	25,314	25,314
減価償却累計額	△19,751	△18,773
構築物(純額)	5,563	6,541
機械及び装置	412,280	373,575
減価償却累計額	△375,044	△351,170
機械及び装置(純額)	37,236	22,404
車両運搬具	43,032	42,228
減価償却累計額	△33,753	△31,286
車両運搬具(純額)	9,278	10,942
工具、器具及び備品	160,770	149,586
減価償却累計額	△139,783	△133,683
工具、器具及び備品(純額)	20,986	15,902
土地	2,530,836	2,530,836
リース資産	11,235	11,235
減価償却累計額	△3,671	△2,072
リース資産(純額)	7,563	9,162
建設仮勘定	68,107	39,862
有形固定資産合計	3,065,677	3,037,983
無形固定資産		
特許権	23,759	11,107
電話加入権	2,962	2,962
ソフトウェア	3,640	4,853
水道施設利用権	3,308	3,519
リース資産	3,659	4,425
無形固定資産合計	37,330	26,868
投資その他の資産		
投資有価証券	36,273	21,609
関係会社株式	20,080	20,080
出資金	5,000	5,000
従業員に対する長期貸付金	—	75
繰延税金資産	202,501	207,315
差入保証金	57,112	59,550
保険積立金	29,326	29,322
投資その他の資産合計	350,294	342,952
固定資産合計	3,453,302	3,407,804
資産合計	8,989,161	8,524,782

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年4月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	712,060	634,505
短期借入金	800,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	39,996	39,996
リース債務	3,153	3,153
未払金	73,131	60,521
未払法人税等	174,902	106,245
未払費用	32,001	29,127
前受金	9,140	—
預り金	15,208	22,125
賞与引当金	48,336	20,400
役員賞与引当金	12,360	6,300
製品保証引当金	15,600	13,700
設備関係未払金	11,581	6,060
流動負債合計	1,947,472	1,742,136
固定負債		
長期借入金	106,676	136,673
リース債務	8,069	10,434
長期未払金	403	521
退職給付引当金	219,323	200,559
役員退職慰労引当金	303,206	295,945
固定負債合計	637,678	644,133
負債合計	2,585,150	2,386,270
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,213,787	1,213,787
資本剰余金		
資本準備金	1,629,587	1,629,587
資本剰余金合計	1,629,587	1,629,587
利益剰余金		
利益準備金	59,500	59,500
その他利益剰余金		
別途積立金	2,847,000	2,607,000
繰越利益剰余金	654,983	636,339
利益剰余金合計	3,561,483	3,302,839
自己株式	△7,796	△7,603
株主資本合計	6,397,060	6,138,610
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,950	△98
評価・換算差額等合計	6,950	△98
純資産合計	6,404,010	6,138,512
負債純資産合計	8,989,161	8,524,782

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年8月1日 至平成22年4月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年4月30日)
売上高	3,390,925	4,000,143
売上原価	1,874,672	2,202,309
売上総利益	1,516,253	1,797,834
販売費及び一般管理費	1,053,217	1,166,227
営業利益	463,035	631,606
営業外収益		
受取利息	4,190	1,838
為替差益	4,296	—
雑収入	3,770	1,711
営業外収益合計	12,257	3,550
営業外費用		
支払利息	7,781	7,458
為替差損	—	24,559
雑損失	373	354
営業外費用合計	8,154	32,372
経常利益	467,138	602,783
特別損失		
投資有価証券評価損	5,489	—
特別損失合計	5,489	—
税引前四半期純利益	461,649	602,783
法人税等	184,151	256,182
四半期純利益	277,497	346,601

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年8月1日 至 平成22年4月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年8月1日 至 平成23年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	461,649	602,783
減価償却費	55,449	67,711
投資有価証券評価損益(△は益)	5,489	—
受取利息及び受取配当金	△4,293	△2,064
支払利息	7,781	7,458
為替差損益(△は益)	△691	29,569
賞与引当金の増減額(△は減少)	22,598	27,936
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	3,600	6,060
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△300	1,900
退職給付引当金の増減額(△は減少)	18,577	18,764
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,811	7,261
売上債権の増減額(△は増加)	△397,027	△205,811
たな卸資産の増減額(△は増加)	△229,930	△110,675
仕入債務の増減額(△は減少)	488,217	77,554
未払費用の増減額(△は減少)	2,828	2,767
前受金の増減額(△は減少)	94,907	9,140
預り金の増減額(△は減少)	△4,697	△6,917
その他	△26,158	37,349
小計	506,810	570,789
利息及び配当金の受取額	4,293	2,064
利息の支払額	△7,813	△7,255
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△27,472	△189,069
営業活動によるキャッシュ・フロー	475,817	376,529
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,517,549	△2,528,340
定期預金の払戻による収入	2,507,049	2,519,630
有形固定資産の取得による支出	△181,348	△83,889
無形固定資産の取得による支出	△4,615	△16,554
投資有価証券の取得による支出	△2,743	△2,802
その他	△457	692
投資活動によるキャッシュ・フロー	△199,664	△111,264
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△13,332	△29,997
自己株式の取得による支出	△1,410	△193
配当金の支払額	△87,968	△87,957
その他	△1,391	△2,365
財務活動によるキャッシュ・フロー	95,896	△120,512
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,179	△27,956
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	373,229	116,795
現金及び現金同等物の期首残高	1,437,856	1,650,007
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,811,085	1,766,803

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社は、半導体等電子部品製造装置の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

当第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社は、半導体等電子部品製造装置の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、生産、受注及び販売の状況につきましては、当社の品目別及び地域別に記載しております。

① 生産実績

(単位：千円)

区分 (品目別)	前第3四半期累計期間 (自平成21年8月1日 至平成22年4月30日)		当第3四半期累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年4月30日)		前事業年度 (自平成21年8月1日 至平成22年7月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
CVD装置	1,099,761	28.6	1,126,382	27.5	1,358,886	28.3
エッチング装置	2,100,724	54.6	2,091,557	51.0	2,567,830	53.5
洗浄装置	243,994	6.3	304,727	7.4	332,093	6.9
その他装置	9,926	0.3	26,683	0.6	9,843	0.2
その他	392,091	10.2	553,340	13.5	535,579	11.1
合計	3,846,499	100.0	4,102,691	100.0	4,804,233	100.0

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

(単位：千円)

区分 (品目別)	前第3四半期累計期間 (自平成21年8月1日 至平成22年4月30日)		当第3四半期累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年4月30日)		前事業年度 (自平成21年8月1日 至平成22年7月31日)	
	受注高	受注残	受注高	受注残	受注高	受注残
CVD装置	1,279,778	447,320	928,500	407,850	1,732,614	618,500
エッチング装置	2,249,814	562,270	1,841,634	810,040	3,065,152	1,037,444
洗浄装置	244,538	82,850	328,248	163,102	403,012	103,730
その他装置	—	—	—	—	—	—
その他	377,067	58,848	505,715	42,888	505,943	60,253
合計	4,151,198	1,151,288	3,604,097	1,423,881	5,706,722	1,819,927

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

(単位：千円)

区分 (品目別)	前第3四半期累計期間 (自平成21年8月1日 至平成22年4月30日)		当第3四半期累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年4月30日)		前事業年度 (自平成21年8月1日 至平成22年7月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
CVD装置	862,458	25.4	1,139,150	28.5	1,144,114	26.8
エッチング装置	2,003,134	59.1	2,069,038	51.7	2,343,298	54.8
洗浄装置	172,292	5.1	268,875	6.7	309,886	7.2
その他装置	—	—	—	—	—	—
その他	353,040	10.4	523,079	13.1	480,511	11.2
合計	3,390,925	100.0	4,000,143	100.0	4,277,810	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 主な輸出地域、輸出販売高及び割合は次の通りであります。

(単位：千円)

区分 (地域別)	前第3四半期累計期間 (自 平成21年8月1日 至 平成22年4月30日)		当第3四半期累計期間 (自 平成22年8月1日 至 平成23年4月30日)		前事業年度 (自 平成21年8月1日 至 平成22年7月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
アジア	1,394,288	94.6	1,264,941	83.9	1,803,071	95.4
北米	78,890	5.4	60,744	4.0	79,471	4.2
欧州	—	—	40,527	2.7	—	—
その他	—	—	141,950	9.4	7,843	0.4
輸出販売高合計	1,473,178 (43.4%)	100.0	1,508,164 (37.7%)	100.0	1,890,387 (44.2%)	100.0

(注) () 内は総販売実績に対する輸出販売高の割合です。